

水俣研修に行きました〜菊池南ブロック協議会活動報告〜

水俣病は遺伝する？

水俣病は遺伝しません。熊本県の小学5年生は「水俣に学ぶ肥後っ子教室」という取り組みにより、全員水俣を訪問して、水俣病や環境問題について学習しています。取り組みの背景には、水俣病に関する無知や無理解による差別行為などの事例発生がありました。

ある競技大会中に、水俣の高校生と対戦した他県の生徒が差別発言をしました。生徒の告発により明らかにされ、発言の当事者側は謝罪して確かなことを学ぶ機会を得ました。残念なことに、このような事例はまだまだ続いています。故郷が水俣であることを語れない人もいます。学習の機会がまままま、大人になった方も多いのかもしれない。

昨年11月21日に水俣へ研修に行きました。水俣芦北公舎サ-

【問い合わせ先】
人権啓発・男女共同参画推進課
☎0968(25)7209

地域人権教育指導員 末永知恵美

てほしかった」と語られたそうです。

胎児性水俣病の坂本しのぶさんの話

ツボにはまると笑いが止まらなくなり、話が中断するなどお茶目な姿も見せてくれたしのぶさん。彼女の夢は「水俣病でなかったら何がしたいですか？」という小学生らの質問に対して「全力で走ってみたい」。

しのぶさんは高齢になり、健康状態に不安を抱えながらも、各地の小中学校で数多くの講演活動を行っています。その姿は「全力で走り続けてきた」そのものです。

研修参加者は、しのぶさんの姿に多くを学びました。学びに遅すぎることはありません。学び続けましょう。



◆シリーズ◆ 南北朝・菊池一族歴史街道 ②③

【問い合わせ先】観光振興課 ☎0968(25)7223

◆宮ノ陣神社の
將軍梅まつり

宮ノ陣神社

久留米藩の学者だった船曳鉄門は、福岡県から県南部地域の歴史を本にまとめるよう命ぜられ、八女の五條家を調査しました。五條家は後醍醐天皇の命令で、征西將軍懷良親王と共に九州へ派遣された公家の一人、五條頼元の子孫の家柄です。

そこに伝わる古文書の記事から、矢部の山中に忘れられていた良成親王の御陵墓があることを発見。急ぎ宮内庁へ報告して御陵墓と認められ、早速荒れていた御陵の整備が行われました。翌年、船曳らは良成親王の霊



將軍梅図 (三谷有信筆・懷良親王部分)



將軍梅

翌年に周辺の5村が合併すると、新しい村名も「宮ノ陣村」と名付けられています。明治25年には現在の社殿が造営され、明治44年9月には懷良親王も合祀されました。現在は、地元出身の戦没者146柱も合祀されています。

將軍梅まつり

今年は3月20日(金)午前10時から開催されます。午前中は校区戦没者の慰霊祭、午後1時から子ども相撲大会や將軍梅太鼓の演奏が行われます。

將軍梅

宮ノ陣神社の神殿の前に、石製玉垣で保護された「將軍梅」があります。陣中で懷良親王がお手植えされたと伝わる紅梅の木です。現在は5本の梅の木があり、周囲も梅園が整備され、2月下旬頃から境内に馥郁たる香りが漂います。

將軍梅は元々、南朝にゆかりの地元の皆さんが木柵を設けて保護されていたのですが、幕末に久留米藩の殿様が上京し、宮中へ参内した時、公卿の四條公から「久留米領内に征西將軍お手植えの梅があると聞きますが、さぞ大切に保護されているのでしょね」と尋ねられます。

殿様は將軍梅の存在を知らなかったのですが、勢いで「大切に保護しています」と答えてしまいました。宮中を退去した殿様は、急ぎ久留米へ使いを送り、藩は大慌てで美しい石を揃え、玉垣が整備されました。

「はい！こちら菊池市消費生活センターです！」

【問い合わせ先】菊池市消費生活センター ☎0968(36)9450 (月)〜(金)午前10時〜正午、午後1時〜4時(福祉課)

暗号資産の投資トラブルに注意！

暗号資産とは、資金決済法で通貨のような機能を持つ電子データとして定義されているもので、紙幣のような法定通貨ではなく、実態も存在しません。代表的なものに「○○コイン」などがあり、決済手段として使われる他、暗号資産を原資とした価格変動取引で値上がり益を見込んだ投資目的の対象として利用されています。

近年、マッチングアプリやSNSで知り合った人から「必ず儲かる」と暗号資産の取引や投資を勧誘され、トラブルになるケースが増えています。暗号資産交換業者は、金融庁への登録が義務付けられ、購入者に対し、仕組みやリスク、手数料など、十分な説明を行う必要があります。登録業者名も公表されています。トラブルを防ぐためにも金融庁の登録を受けた業者か確認することが重要です。アプリやSNSで知り合った人から勧誘されるケースでは、詐欺などのト

ラブルに遭う危険性があります。

●トラブル事例

▼知人に「儲かるから」と暗号資産を勧められ、お金を振り込んだが、ホームページから入金できなくなっており、ホームページも閉じられた。住所も連絡先も分からない。

▼マッチングアプリで知り合った女性から勧められ、業者から暗号資産を購入したが、入金後に連絡が取れなくなった。偽の投資アプリやウェブサイトに誘導され、利益が出ていないのに儲かっているように見せかけ、実際には種々の理由をつけられ入金できない。

●トラブルに遭わないために
投資に「絶対儲かる」や「元本保証」はありません。このような言葉は詐欺の典型的なサインです。暗号資産の他に「FX投資」「為替差益取引」など、同様のトラブルも頻発していますので、ご注意ください。

金融庁のトラブル相談窓口
金融サービス利用者相談室
☎0570(016)811

地域おこし協力隊通信

市民の皆さんとデジタル講座を通して交流

■各公民館でスマホ講習会を開催(令和7年12月)

お出かけ編や調べもの編、生成AIなど、7種類のカリキュラムを実施し、多くの市民の方に参加いただきました。各カリキュラムは貸し出し用のスマートフォンを使用した体験型形式で行い、実際に操作しながら学ぶ内容で、参加者の満足度も高い結果となりました。

参加者の中には、うなずきながら熱心にメモを取られる方や操作方法を繰り返し復習される方、何度も講習会に足を運んでくださる方の姿も見られました。



vol.83 || 菊池デジタル推進コーディネーター

山脇はるかさん

■子ども食堂でプログラミング教室を開催(1月)

ひのくにスマイル食堂(富の原北)で開催しました。Scratch(スクラッチ)というビジュアル言語を使った図形の描画や、Python(パイソン)というプログラミング言語による計算や文字列出力のプログラムを作成。参加者からは「説明も分かりやすく、問題が解けた時、うれしかった」といった声をいただきました。

春休みプログラミング講座

とき 3月26日(木)
①午前10時〜 ②午後2時〜
※各2時間程度
ところ 中央公民館 視聴覚室

申し込みはこちらから



【問い合わせ先】情報政策課 ☎0968(25)7249